



現在臨時休園中【夏期開園期間】4/29(木・祝)～11/3(水・祝)【開園時間】午前9:30～午後5:15(最終入園は午後4:00まで) 10/15(土)～11/3(水・祝)は午前9:30～午後4:30(最終入園は午後4:00) ※園内の安全かつ円滑な運営に支障をきたすおそれがあるときには、事前に告知することなく閉園する場合があります。

旭山動物園だより

発行所

旭川市旭山動物園
動物図書館
☎0166-36-1104

園内には「新しい」が、 たくさんありますよ！～2021～

新施設はもちろん、飼育スタッフの思いが詰まった新しい手書き看板、動物たちがより暮らしやすいように取り入れたモノ、来園した動物たちなど、園内には「新しい」がいっぱいです！



昼夜逆転施設「エゾモンガ舎」

開園時間中、施設内を暗くすることで、夜行性のモンガの活動を観察しやすくした昼夜逆転施設です。東門のスロープ・ゆっくりロード下、「エゾタヌキ放飼場」の向かいにあります。※舎内は写真より暗くなっています



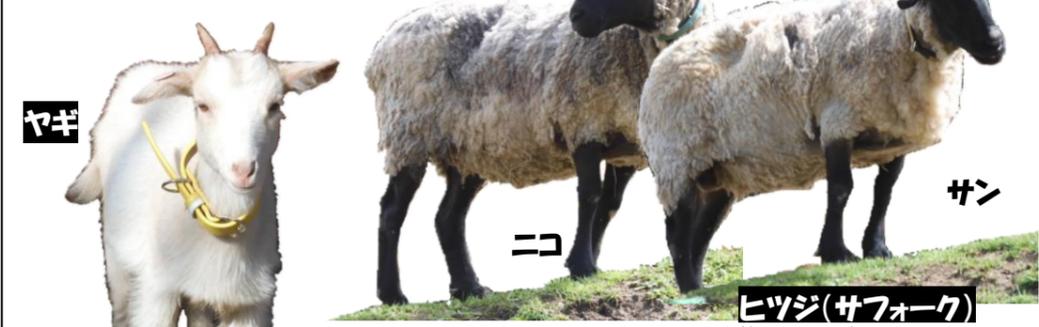
アザラシの動物大パネルは5～6年ぶりの大リニューアル！

手書き看板は動物たちの魅力を発信しています！

手書き看板や動物舎内もリニューアルしています！

2021年度の夏期開園もリニューアルがいっぱいです。特に、飼育スタッフによる手書き看板や動物舎内のエンリッチメント(飼育環境に工夫を加えて、環境を豊かで充実したものにしてという試み)のリニューアルは要チェック！飼育スタッフの担当動物に対するこだわりと愛情がたっぷり表現されています。

この春、仲間入りした動物たち



ヤギ

サン

ニコ

ヒツジ(サフォーク)

もみじ

よもぎ

こぶぎ

※よもぎの子

※ヒツジとヤギはそれぞれ首輪の色で見分けがつけます。ヒツジもヤギもすべてメスです
ヒツジ(サフォーク)とヤギは「第2こども牧場」、ウガンデンシス・オオツノカナブンは「かば館」地下の「アフリカ水槽」に仲間入り。ほか、「北海道産動物舎」の北海道の野鳥コーナーにハクセキレイ、「両生類・は虫類舎」には外来種のアメリカザリガニとテラピアが仲間入り。「サル舎」では3/14にワオキツネザルが生まれました。



ウガンデンシス・オオツノカナブン

オス

メス

※ウガンデンシス・オオツノカナブンは繁殖後、一生を終えます。寿命は1か月ほどです。繁殖のために飼育しているので開園時に成虫を観察できない場合があります

シンリンオオカミの「マース」が死亡しました

5月25日、シンリンオオカミの「マース」(メス・13歳)が老衰のため死亡しました。「マース」は、昨年10月に死亡したペアの相手「ケン」との間に9頭の子どもを育てました。「オオカミの森」にいるオオカミは「ワッカ」「レラ」「ノチウ」3頭になりました。すべて「マース」と「ケン」の子どもたちです。



4/10、サケの稚魚を石狩川に放流しました

夏期開園前の休園中、「ほっきよくぐま館」内の水槽で飼育していたシロザケの稚魚を旭川市内を流れる石狩川に放流しました。稚魚の一部は、引き続き「ほっきよくぐま館」で飼育中。水槽内の水も海水に切り替えています。稚魚は現在、全長7～8cmほどに育っています。



季節が移り変われば園内もいろいろ変わります
ナナカマドの木には白い花が咲き、新緑が美しい季節になりました。4月まではまだ白い冬毛が残っていたエゾユキウサギの毛は茶色い夏毛に、3月に抜け落ちたエゾシカのツノも伸びてきましたし、昨年末に約175cmで生まれたキリンの子も、240cmを超えるほどになりました。大きくなった、色が変わった、行動が変わったといった動物たちの変化や、新しくなった場所・部分を、今度、旭山動物園に来たときに、見つけてみてくださいね。

緊急事態宣言が発令中のため、6/20(日)まで休園中です。開園日などの詳細は公式ホームページや公式SNSにてご確認ください。